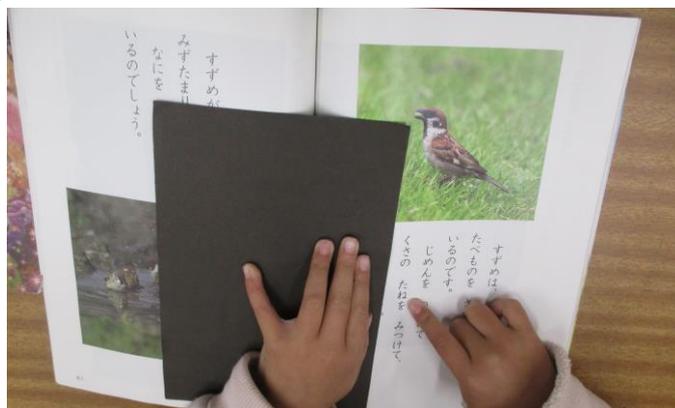


児童・生徒の実態

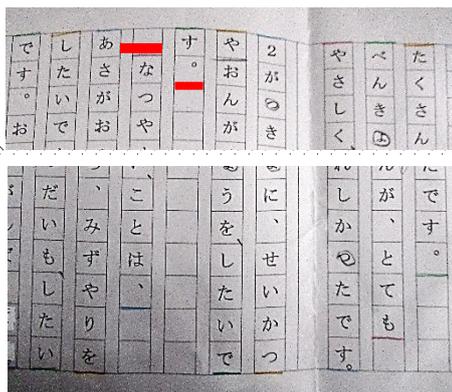
文字や行を飛ばして読み間違えることが多い。

☆手立て・合理的配慮

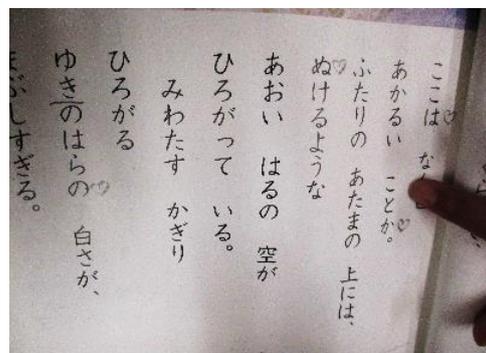
- ・ 読んでいる行が分かるように黒い紙を、ずらしながら使用するようにした。



- ・ 次にどの行を読むかが分かるように、行末と次の行の先頭に同じ色を付け、つながりが色で分かるようにした。(数色を用いた)



- ・ よく読み間違える言葉の横に、児童が気に入っている記号を付けて、注意を促した。



支援を受けてみて

- ・ 行を読み間違えることが減った。さらに、指で押さえながら読ませるようにすると、どこを読んでいるのかが分かりやすくなったようで、読むスピードも速くなった。(保護者)